

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0907 - 12

事務事業名	公園・児童遊園等維持管理経費		担当組織	都市整備部	公園緑地課
-------	----------------	--	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般	計画事業No.	5	1	1
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール		11	15	17	
事業を構成する予算事業	①	公園・児童遊園等維持管理経費			②					
	③				④					
	⑤				⑥					

政策体系(令和5年度基本計画)				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		政策	みどりの創造と保全
施策	みどりの活動拠点の創造・育成【重点】		政策番号	5-1-1
関連する個別計画	みどりの基本計画		計画策定年度	令和5年度
			計画期間	10年

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	区民、公園・児童遊園等							
(2)事業の目的・期待する効果	公園施設の適正な維持管理を行うことで、区民が公園・児童遊園等を安全で快適な利用ができる。							
(3)事業概要	公園・児童遊園等が安全で快適に利用できるよう、施設の安全点検、巡視活動、並びに施設改修を含む維持管理を実施する。							
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	直営及び工事請負による施設の維持補修工事(撤去工事を含む)、直営巡視員による巡回点検および指導、禁煙啓発事業 清掃請負:全園1日1回の園内清掃及びトイレ清掃(トイレ清掃1日2回の園もあり)、ごみ収集請負:全園定期的に巡回、樹木剪定請負、カラスの巣撤去請負、池清掃請負(日出町公園、谷端川親水公園、上池袋さくら公園、他10施設) トイレ建替及び改修工事:26園(29年度:15園、R1年度:40園予定)						
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)(達成率)	6年度(計画値)
	①	施設内での事故発生件数	→	回	0	0	0	100.0
	②							
	③							
	指標の説明	施設内の管理物において、事故の発生がないように維持管理・修繕等を行っている。そのため、事故の発生件数を成果指標としている。						
達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)(達成率)	6年度(計画値)
	①	遊具及び施設の点検回数	→	回	1	1	1	100.0
	②							
	③							
	指標の説明	法令で点検義務のあるため、点検回数を指標としている。点検後、補修や撤去等を実施している。						
	達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由					

2. 事業費の推移

単位	4年度		5年度			6年度			
(金額の項目:千円 人数の項目:人)	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)		
事業費	A	531,188	466,914	562,171	536,493	95.4%	544,513	8,020	
財源内訳	国、都支出金	B						0	
	使用料・手数料		14,421	26,708	14,421	24,025		21,525	-2,500
	地方債・その他		1	148	1	0		1	1
	一般財源	C=A-B	—	440,058	—	512,468		522,987	10,519
正規職員人数※小数点第1位まで		14.3	名	14.3	名		14.3	名	
会計年度人数※小数点第1位まで		3.8	名	3.8	名		3.8	名	

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	A	根拠	点検等を実施し事故なく施設利用の提供ができている。			
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。						
①目標に対する成果状況を踏まえた課題 安全が確認された遊具であってもケガをするものがある。巡視員の指導にも限界があるため、利用者への周知の強化が必要。							
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 							
(2)業務(事務)改善に向けての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取り組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	B	根拠	施設点検を実施し、適宜補修を実施している。			
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。						
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 安全が確認された遊具であってもケガをするものがある。巡視員の指導にも限界があるため、利用者への周知の強化が必要。						
	②現状の実施状況における所管課の認識						
	事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	公園の再構築案の策定で検討している。			
	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	小規模や緊急性のものを直営としている			
	サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	競争入札により業者を決定している			
	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名				
	③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況						
	対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	一定の効果がある	予算措置	有
はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)							
対応、改善の予定	無	無	対応、改善の予定がない理由	一定の効果があるため			
有	対応、改善の内容				予定時期		
	予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由		
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	条例に基づき設置し維持管理を行う必要がある			
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。						
	①区が実施する理由(複数選択可)						
	☐	区民の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	☐	法律の要請を受けて行う事業である。			
	☐	民間事業者等に同様のサービスがない。	☐	その他(理由)			
	②区民ニーズ						
	区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(成果)		指標番号(活動)	
				推移	→	推移	
	有・無どちらも	区民ニーズに対する認識	毎年実施している区民意識調査において、区民の考え方の傾向は把握している。				
	総合評価(d) = a + b + c						
ランク2							

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載			
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)			
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)		根拠	

5. 令和6年5月末時点の状況	
①令和6年度当初の課題・ニーズ	公園、児童遊園の利用マナーについて、過年度より下記の課題を抱えている。 ・園内の利用マナー(喫煙、球技、騒音等) ・便所の利用マナー(汚損、破損等) また、こどもレター等を通じて、公園への要望も多くなっている ※⑤「区民等からの事業に対する意見・要望」参照
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	国の動きとして、直近の都市公園法の改正では、量の整備を急ぐステージから緑とオープンスペースが持つ多機能性を最大限に引き出すことを重視するステージに移行すべきという考え方を示している。これは、公園の利活用をさらに進めるため、民間活力を使うもので、既存の公園、児童遊園の維持管理に対し、新たな補助金の創設などはない。
③令和6年度の方針・取組方針(事業展開)	日常の清掃については、過年度に引き続き、毎日の清掃委託(園内清掃、便所清掃)を行う。 また、区内の公園、児童遊園における機能、役割を見直し、機能分担を再構築するため、学識経験者を公園アドバイザーを登用し、公園再構築プランに向けた検討を行う。
④令和6年度の事業進捗状況	【公園再構築プラン検討状況】 令和6年5月 公園アドバイザー登用(千葉大学 竹内智子准教授) 令和6年9月 区民ワークショップ「魅力ある公園づくり」実施予定 令和6年秋～冬 区内小学校にてワークショップ実施予定
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	区民の声、広聴メール、こどもレター等による、公園への要望あり (令和5年度 広聴メール、広聴はがき 23件、問い合わせメール100件、こどもレター116件) ※主な内容(施設補修、球技、喫煙、騒音、ボール遊び広場、遊具の設置要望等)
⑥上記⑤に対する対応	通常利用の満足度の向上については、委託業務による清掃を徹底していく。また、園内のマナーについては、巡視員による巡視や適切な看板を掲示し、利用マナーの向上を図っていく。 遊具等の設置要望等については、公園再構築プランの検討の中で、区民からの声を収集しながら適切な施設配置を検討していく。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望 (f)	現状維持	根拠	施設の再構築後に見直す
今後の事業の方向性(d+e+f) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載(改善方法、課題への対応など)			
23区の対応状況を確認をする。現状では、過剰な対応をしている認識はないが、他の自治体の取り組みを参考としつつ、現在実施している公園の再構築案をもとに今後の対応策を検討をする。			